

きれいな空気よいい水を求めて

# 会報 かんきょう

Vol. 40



三保松原と富士山



静岡市三保松原  
文化創造センター みほしるべ

## 県内優良施設見学研修会

- ① 静岡県工業技術研究所 富士工業技術支援センター
- ② (株)アイエイアイ 本社工場 …1

## 環境セミナー

自然への挑戦! 限界の先に見える景色 …3

## 共催事業

- 令和6年度 公害防止管理者等研修会
- 令和6年度 視察研修 …4

## 設立20周年記念事業 植樹

かんきょうにゆーす …5

# 「県内優良施設見学研修会」参加報告

■ DATA ■

令和6年11月28日(木)

①静岡県工業技術研究所 富士工業技術支援センター ②(株)アイエイアイ 本社工場

令和6年度の「県内優良施設見学研修会」は会員・事務局17名が参加し、2施設の見学をさせていただきました。

## ■静岡県工業技術研究所 富士工業技術支援センター

### 1. 施設概要

富士工業技術支援センターは県内外問わず、ものづくりを行う企業の技術面や製品の試験や分析、研究・技術開発等の課題解決を支援しています。相談件数は、ほぼ毎日何等かの相談があり、製紙関係では県外からも相談があるとのことでした。

富士市という立地から、紙関連の機械を多数保有しており、近年ではセルロースナノファイバーの開発や利用技術に力を入れているそうです。

### 2. 環境への取り組み

セルロースナノファイバーは、セルロースを主成分とする植物繊維をナノメートルサイ

ズまでほぐして微細化した素材です。環境に優しい天然物でありながら軽量で強度を持ち、熱で膨張しにくい、吸水性が高い等、様々な特徴があります。植物を原料としているため再生型資源として気軽に身近なものから手に入れられる環境に優しい素材で、再生できないガラス繊維や炭素繊維の代替品として期待されているそうです。

### 3. 感想

富士工業技術支援センターでは様々な研究・開発が行われており、特にセルロースナノファイバーは環境にもやさしく、今後多く使用されることによりコストも下がるとのことで大きな期待を持てる素材と感じました。

その特性の粘性を活かしてインクに使われたり保湿性を活かして化粧品に使われたりしており、特に驚いたことは食品に使われているということで、食品に使うとしっかりとした食感が得られるとのことでした。



静岡県工業技術研究所 富士工業技術支援センター



## ■(株)アイエイアイ 本社工場

### 1. 会社概要

(株)アイエイアイは『お客様に喜んで頂ける製品とサービスをお届けする』を経営理念とする、小型産業用ロボットのトップメーカーとして様々な商品を開発製造しています。2017年4月からエレシリンダー<sup>※1</sup>を発売し、「ロボット製品の複雑で難易度が高い」というイメージを払拭しました。

今回見学させていただいた新社屋は2024年7月に本稼働を開始し、12月上旬には敷地内に全国初の障がい者優先のIAIパラスポーツパークも完成することでした。

また、地域とのつながりも非常に大事にしており、子どもたちに対してはミニロボで物づくりに興味を持ってもらえるように、地域の活性化にも注力しエスパルスのオフィシャルパートナー契約や静岡まつりや清水みなと祭り、静岡マラソンにも協賛しています。

### 2. 環境への取り組み

新社屋の屋上には防災面も含めてソーラーパネルを設置しています。

生産年齢人口が減少していく中で工場の自動化を推進しており、エアシリンダー<sup>※2</sup>からエレシリンダーに変更することでCO<sub>2</sub>の削減にも貢献できるという環境に非常に優しい製品だと感じました。

2007年1月に、エコファーム部(農業研究部門)を設立し、化学合成農薬及び、化学合成肥料を使用しない農法の開発に努め、高糖度トマトの栽培を行っています。

### 3. 感想

工場内の作業工程の中で、二次元コードを読み取ることで組み立て製品の部品が全てわかるようになっており、組み立て時には使用するグリスの量やネジの種類、ネジの締め付けも全て機械でチェックし、加工ミスの撲滅をしている人にも環境にも優しい企業と感じました。また、新社屋内は精密機械を製作している工場のため非常にきれいな印象を受けました

### おわりに

「優良施設見学研修会」開催にあたり、施設見学を受け入れていただいた施設様・企業様ならびに静岡市環境保全推進協力会事務局に感謝申し上げます。

普段、見学することのない異業種の見学により環境保全への取り組みなどを知ることができ、見学された各企業においても参考になることが非常に多かったと思います。

今後もこの研修会を通じて多くの方に環境保全活動の大切さを認識していただければと思います。

理研軽金属工業(株) 佐藤正明

※1 エレシリンダーは、2点間移動に特化したコントローラー一体型の電動アクチュエーター。精密な動作が求められる場面で役立つ。高速かつなめらかな起動と停止ができる。

※2 エアシリンダーは、圧縮空気のエネルギーを直動運動に変換する筒状の機械要素である。



(株)アイエイアイ 本社工場



# 環境セミナー

Tuesday, February 18, 2025

## 自然への挑戦！ 限界の先に見える景色

講師 望月将悟氏(静岡市消防局・山岳アスリート)



### 1. はじめに

今年度の環境セミナーは、静岡市消防局 山岳救助隊員であり、日本の有名なトレイルランナーである望月将悟氏をお招きし、静岡市環境保全推進協力会「設立20周年記念事業」にふさわしい講演会が開催できました。

### 2. 山との関わり

南アルプスの麓にある井川で育った望月氏にとって、「山」は生活の一部であり、親の仕事場でもありました。高校進学を機に一旦山間部を離れましたが、19歳で静岡市消防局に入局し、山の情報に詳しくことから山岳救助隊を選び、次第に山の魅力に引き込まれていったようです。

### 3. 輝かしい実績のバックグラウンドには

望月氏は、2010年に初めてTJAR\*に参加し、初優勝と新記録を達成しました。その後も2012年、2014年、2016年に新記録を更新しながら4連覇を果たしました。TJARは非常に過酷なレースであることから、静岡市の山で約20kgの重りを背負って長距離を走る訓練を繰り返し、レースに備えました。

レース中は睡眠不足や食料・水不足、不測の事態など多くの困難があり、特にペース配分が重要で、誤ると足の痛みで前に進めなくなるそうです。しかし、



レースを完走したときの達成感や景色の変化、応援の力で「がんばろう」という気持ちが高まり、完走や優勝に繋がると感じているとのことでした。

この過酷なレース中、肉体的な限界になると、石ころが財布に見えたりする幻覚、ときには幻聴が現れたりします。もう駄目かもしれないと感じたときは、今、立ち止まっても何も変わらないと自分に言い聞かせ、そして目標を近くのものに置き換え、一步踏み出す工夫をしているそうです。また、精神的な面では、心のゆとりを取り戻すために、勝負へのこだわりを捨てるように自分の気持ちを切り替えると、また周辺の山々の景色が見えるようになり、再度精神が安定したとのことでした。

### 4. 自然環境保全にも「思いやりと理解」を

望月氏は、山は命の源であり学び舎であると認識しています。そのため、山の自然を保全することは非常に重要だと考えています。山には季節ごとに様々な花が咲き、蜂が飛び、動物が生息するなど、生物多様性が豊かです。子どもたちの成長には多様な経験が必要であり、その一環として自然環境の持続可能性を教えています。環境保全には植物、動物、昆虫などの生物の大切さを伝えることが重要です。

人間関係だけでなく、自然環境保全においても「相手を思いやる」「理解しようとする」気持ちを持って取り組むことを望んでおられました。

### 5. おわりに

今回の講演を通じて、TJARは非常に過酷なレースであることに加えて、アルプスには、百花繚乱、身近に動物の存在、多くの種類の昆虫が生息するなどの大自然があり、多様な生態系が広がる場所でもあること、これらの自然環境は「持続可能な社会を目指す」ために、私たちが積極的に守り続ける義務があることを再認識させていただきました。

(株)小糸製作所 間部三千広

\* TJAR(トランスジャパンアルプスレース)。富山湾から日本アルプスを縦走し、駿河湾に至る約415kmを外部の援助を一切受けずに8日間で完走するレース(2年に1度開催)。



## 共催事業

# 令和6年度 公害防止管理者等研修会



### 日時

令和6年9月11日(水) 13:15

### 会場

静岡県男女共同参画センター あざれあ大会議室

### 参加者

66名(協力会参加者10社15名)

### 主催

静岡県環境保全協会、静岡市環境保全推進協力会

### 講演 1

## 環境関連法令の改正動向と留意点〈大気関係〉〈水質・土壌関係〉

講師●静岡県くらし・環境部 環境局 生活環境課 大気水質班

専門主査 小田祐一氏、技師 塩田七海氏、技師 金田光穂子氏

### 講演 2

## 静岡県におけるマイクロプラスチックの状況

講師●静岡県環境衛生科学研究所 環境科学班 主任 竹下由布子氏

### 講演 3

## 東レ(株)三島工場 マイクロプラスチック対策・環境保全活動事例

講師●東レ(株) 三島工場 環境保安課 課長 宮島真氏

### 講演 4

## スズキクリーンオーシャンプロジェクトの取り組み

講師●スズキ(株) マリン技術部 技術支援・管理課 課長 浜田竜司氏

# 令和6年度 視察研修



ファルマバレーセンター

### 日時

令和6年10月11日(金) 9:00

### 行き先

①ファルマバレーセンター 駿東郡長泉町下長窪1002-1

②東レ(株) 三島工場 三島市4845

### 参加者

30名(協力会参加者5社9名)

### 主催

静岡県環境保全協会、静岡市環境保全推進協力会

①**ファルマバレーセンター** 富士山麓を中心に医療からウエルネスまで世界レベルの研究開発を推進し、県民の健康増進と健康関連産業の振興を図る「ファルマバレープロジェクト」の中核支援機関として事業を展開しています。はじめに事業の概要について説明を受け、その後、企業の研究開発室やオフィスなどが入った施設内を見学しました。健康長寿・自立支援プロジェクト“自立のための3歩の住まい”のモデルルームでは、住居の中心にベットを配置し、3歩でトイレや洗面所などに行ける設備が紹介されており、参加者が実際に体験することができました。

②**東レ(株) 三島工場** 繊維、フィルム、医薬品の3事業の生産を担う大規模複合工場となっています。東レ総合研修センターでは、これまでの東レの歩みや製品について説明を受け、その後、工場に移動して労働災害を減らす目的のまなびの場の「まもる一む」や排水処理施設、新たに設置したマイクロプラスチックを除去・回収するシステムの設備などを見学しました。



東レ(株) 三島工場





# 設立20周年 記念事業 植樹

令和7年2月1日(土) 参加事業所20社 参加人数82名

令和7年2月1日(土)、静岡市環境保全推進協力会 設立20周年記念事業として静岡市清水区三保松原において松の植樹を実施いたしました。

当会が三保松原で松の植樹を行うのは平成22年、平成27年に続き今回で3回目となります。

本記念事業には会員企業20社・82名の皆様にご参加いただき、抵抗性マツ100本の植樹を実施いたしました。

当日は穏やかな冬晴れの中、記念事業が開会し、当会会長の挨拶と事務局からの挨拶に続き、今回苗木をご用意いただきました有限会社森下木材様より現在の松の状況と植樹についてのご説明をしていただきました。植樹についてのご説明の中では、お手本として実際に苗木の植樹の仕方を見せていただき、参加者の皆様は森下木材様のお話に熱心に耳を傾けていました。

全員での記念撮影を行った後、各自植樹の担当場所に移動し、いよいよ松の植樹が開始されました。抵抗性マツの苗を受け取り、それぞれ用意された植樹場所へ苗を植えていきました。苗木を取り出すことに苦労される方もいらっしゃいましたが、皆一生懸命、楽しそうに植樹を実施していました。自ら松を植えると愛着が湧くようで、植樹を終えると自身が植えた松を見ながら、健やかな成長を願っていらっ

しゃいました。

手際よく作業が進められたことから、開始から30分ほどで無事100本の松の植樹が完了し、最後には自らが植えた松と各々記念撮影をする等、終始和やかな雰囲気で作業は進められました。

森下木材様のお話では、今回植えた松は約15年で8～10メートルほどに成長するとのことでした。しかしながら、前回植樹した松は一部が枯れてしまったこともあり、今回植樹した松がしっかりと大きく成長するよう、引き続き環境保全活動に取り組んで参ります。

会員企業の皆様におかれましては引き続き、ご協力のほどよろしくお願いたします。

静岡鉄道(株) 大石将太



## かんきょうにゆーす

Kankyo News

### 事務局からのお知らせ

#### 通常総会の開催について

通常総会の日程をお知らせいたします。

1. 開催日 令和7年5月23日(金)
2. 会場 静岡市役所清水庁舎  
(静岡市清水区旭町6-8)
3. 時間 14時00分～ 理事会(第2会議室)  
14時30分～ 通常総会(ふれあいホール)  
15時10分～ 講演会(ふれあいホール)

#### 清水区三保クロマツ植樹地

### 第2回下草刈り

令和6年10月19日(土)  
参加事業所17社 参加人数87名



下草刈りとともに松葉かきも行いました。会員事業所の皆様、ご協力ありがとうございました。

【令和7年3月31日現在会員数】 121事業所

随時会員を募集しております。詳細は事務局までお問い合わせください。

【発行】静岡市環境保全推進協力会 [ホームページURL] <https://www.shizuoka-kankyosuishin.jp>  
【事務局】〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡庁舎 環境局環境保全課内 TEL054-221-9373 FAX054-221-1186  
【表紙写真】静岡市三保松原文化創造センター みほるべ 提供